

— 高校生からの提言と同採決 —

○大村議長

次に、住みよく魅力ある奈良県づくりについての提言を行います。

御所実業高等学校、4番、吉中弘和議員より、提言第1号、活力ある奈良県づくりについて提言決議方の動議が提出されましたので、吉中弘和議員に趣旨弁明を求めます。

提言第1号

～活力ある奈良県づくりについて～

○吉中議員

御所実業高等学校を代表して、提言第1号、活力ある奈良県づくりにつきましても、提言文の朗読をもって提案にかえさせていただきます。



(御所実業高等学校 吉中弘和議員)

私たちは、活力ある奈良県づくりのために、次のように提言します。

活力ある奈良県づくりのためには、地域産業の支援と、スペシャリストの育成が必要だと考えます。まず、地域産業の支援ですが、地域産業を支援し、県内の雇用を継続的に拡大することは、労働力の向上だけでなく、県内消費の拡大にも繋がり、そのことで雇用が更に増えるという生産的な循環を生みます。その結果、経済力のある地域づくり、奈良県づくりができます。さらに、ただ雇用を拡大するだけでなく、一人一人が自分の適性や専門性にあった職に就けることで、いきいきとした活力のある奈良県づくりに繋がると 생각합니다。

次に、豊富な人材、スペシャリストの育成です。

そのためには、今までの学校の枠を越えた、奈良県を中心とする産・学・官・民の連携や地域の協働活動を交えた学びが必要だと考えます。次の世代を担う若者が専門性や国際性を身に付けることは、将来の奈良県にとって、とても重要なことだと考えます。また、県立高校の教育設備が充実すれば、より一層、専門性を高めた若者を育成することができ、奈良県の発展に繋がると 생각합니다。

今回、活力ある奈良県づくりについて提言をさせていただきました。今後、より多くの人材が育ち、魅力と活力のあふれる奈良県に発展していくことを期待し、次世代を担う若者として、自覚と責任をもって、勉学と地域活動に励んでいきたいと思いません。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願ひします。

○表議員

ただいま吉中弘和議員から提案されました提言第1号、活力ある奈良県づくりについて賛成します。

○西村議員

ただいま吉中弘和議員から提案されました提言第1号、活力ある奈良県づくりについて賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立しました。

よつて、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第1号については、4番、吉中弘和議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願ひます。

起立多数であります。

よつて、提言第1号については採択することに決しました。

○大村議長

次に、畝傍高等学校、8番、浅香慶議員より、提言第2号、奈良に歴史博物館の建設をについて提言決議方の動議が提出されましたので、浅香慶議員に趣旨弁明を求めます。

提言第2号

～奈良に歴史博物館の建設を～

○浅香議員

畝傍高等学校を代表して、提言第2号、奈良に歴史博物館の建設をにつきましては、提言文の朗読をもって提案にかえさせていただきます。



(畝傍高等学校 浅香慶議員)

私は、奈良県の文化の復興として学生に奈良の歴史や文化を手軽に勉強できる場の提供及び、歴史博物館の建設を提案します。

数年前に奈良で平城遷都1300年祭というイベントが行われ、奈良の歴史や文化への関心が高まりました。しかし、その1300年前に何があったのかを知る学生は多くありません。今年度から、県立高校では『奈良TIME』が設置され、学校では郷土の歴史や文化を学ぶ機会が増えましたが、今後はさらに若者が本県の歴史を学ぶ場を各市町村にも増やし、そこで学んだ若者が、観光ガイド、またガイドまではいかなくても他県の人と触れ合える場所が必要と考えます。奈良以外の都道府県を知ることによって奈良をより深く知ることできると思います。

また、歴史博物館を建設すべきと考えます。奈良は重要な文化財がそれぞれ離れた所にあるので観光客が全てを見て回るのは難しくなります。そこで、奈良の文化財をミニチュアなどにして、一日

で奈良を見て回れるような博物館を作ります。そして、その観光客へのガイドを学生がするようにします。若者が活躍できる場をつくることによって、自ら奈良のことを学ぶようになり、文化の振興にも役立ちます。

この奈良には、地域ごとに、古くからの伝説、和歌、伝統的な建物などがたくさんあります。それらは、とても良いものばかりです。奈良の歴史を知り、奈良の歴史を生かすことによって、奈良の今を学び、奈良のよりすばらしい未来を創っていくことにつながります。

奈良の未来を創っていくためにも、学生が郷土への愛着を持てるようにすること、また奈良の良いところを発信できる歴史博物館の建設を提案します。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○瓜田議員

ただいま浅香慶議員から提案されました提言第2号、奈良に歴史博物館の建設をについて賛成します。

○田中議員

ただいま浅香慶議員から提案されました提言第2号、奈良に歴史博物館の建設をについて賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立しました。

よって、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第2号については、8番、浅香慶議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よって、提言第2号については採択することに決しました。

○大村議長

次に、奈良朱雀高等学校、13番、南川遥議員より、提言第3号、茶道甲子園in奈良&奈良大茶会開催庵(案)！について提言決議方の動議が提出されましたので、南川遥議員に趣旨弁明を求めます。

提言第3号

～茶道甲子園in奈良&奈良大茶会開催庵(案)！～

○南川議員

私たちは、奈良の観光及び奈良の産業を発展させるために、両者が一体となったような新たなイベントを、奈良県が推進して作り出していくことを提言します。その一例として、私たちが考えたイベント案を紹介いたします。



(奈良朱雀高等学校 南川遥議員)

私たちが考えるのは、「お茶」をテーマにしたイベントです。奈良県は、全国有数の「お茶」の生産量を誇っており、日本のお茶栽培の発祥地だとも言われています。また、茶道発祥の地だとも言われています。来年は、全国統一を果たした豊臣秀吉が、1594年旧暦の2月に吉野山で大茶会をしてから420年目を迎えます。それをきっかけに、奈良県全体で茶道甲子園と奈良大茶会を開催するという案です。

本年11月には関西茶業振興大会奈良県大会があり、年明けには奈良市を中心に珠光茶会などの催しが続きます。その流れを絶つことなく継続的に奈良でお茶と観光を楽しんでいただくために開催するのです。

茶道甲子園は、学生が主体で、奈良大茶会は大人が主体のイベントとします。県内各地で茶会を

開催していただくと同時に、双方とも奈良県でしかできない「MY茶道具(茶杓・茶筌・赤膚焼での抹茶茶碗)製作体験」をしていただきます。

これらのイベントにあわせて、茶会や茶室を巡るツアーや、県内各地のお茶の産地やお茶にいわれのある所を巡る見学ツアーを実施します。このツアーの中で、宇治茶にも負けない品質の大和茶をアピールしたり、茶筌などの伝統産業を紹介したりすることができます。参加者・観光客の皆様にも、本当の奈良のよさや歴史の深さを味わっていただき、産業の振興にも繋がるのがこのイベントの良い所だと考えます。

このように、奈良が“伝来の地”や“発祥の地”であることを生かして、観光と伝統産業を組み合わせたイベントを企画し、継続的に実施することで、観光客の誘致と産業の振興が同時にできると考えます。

よって、茶道甲子園in奈良&奈良大茶会の開催を提言致します。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○柏木議員

ただいま南川遥議員から提案されました提言第3号、茶道甲子園in奈良&奈良大茶会開催庵(案)！に賛成します。

○上田議員

ただいま南川遥議員から提案されました提言第3号、茶道甲子園in奈良&奈良大茶会開催庵(案)！に賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立しました。

よって、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第3号については、13番、南川遥議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よって、提言第3号については採択することに決しました。

○大村議長

次に、奈良育英高等学校、17番、田中佑樹議員より提言第4号、地域一体型の学校づくりについて提言決議方の動議が提出されましたので、田中佑樹議員に趣旨弁明を求めます。

提言第4号

～地域一体型の学校づくり～

○田中議員

私たちは、奈良県における地域活性化のために、地域一体型の学校づくりの具体的内容及び方法を提案し、提言に代えたいと思います。



(奈良育英高等学校 田中佑樹議員)

まず、地域と学校とを強く結び付けるための方法について2つ提案させていただきます。

1つ目は、地域と学校が情報を共有できるサイトを開設した上で、各学校に地域に向かって情報を発信できる電子掲示板を設置し、地域に情報を提供してはどうでしょうか。学校で行われている行事や取組を発信することで、地域の方々にも学校で何が行われているのかがわかり、学校に親しみを感じていただけたと思います。地域の情報を発信することで地域の取組が生徒や多くの方に伝わります。また、昨今、異常気象による災害や命を脅かす犯罪が多発しているので、緊急時には地域の方に情報を提供できる手段ともなり、地域に貢献できると思います。

2つ目は、各地域において市町村と学校の共催のイベントを開催し、地域の方々と学校との交流の場を設定することです。例えば、地域の方々と清掃活動を実施してみてもどうでしょうか。地域の方々と学校の生徒・教師が自分たちの暮らしている地域をきれいにするという目的を共有し、なおかつ、触れ合う場ができることによって互いに理解し合えるというメリットも生まれてくると思います。その中で地域をよくする新しい発想が生まれ、新たな活動が生まれてくると思います。

地域の活性化のためには、地域の連携力・結束力が必要であり、地域に貢献する学校を作ることがその第一歩と考えます。これを起点として、地域と学校の結び付きが強まれば、地域を愛する人が増え、地域を中心とした積極的な活動が可能になると思います。

今回、私たちから奈良県における地域活性化のための地域一体型の学校づくりを提案させていただきましたが、今後、県民全体で話し合うことで、県民自らが奈良の発展性を再認識し、奈良県の地域に活力がみなぎると考えます。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく願います。

○藤井議員

ただいま田中佑樹議員から提案されました提言第4号、地域一体型の学校づくりについて賛成します。

○下田議員

ただいま田中佑樹議員から提案されました提言第4号、地域一体型の学校づくりについて賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立しました。

よって、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第4号については、17番、田中佑樹議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求

めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よって、提言第4号については採択することに決しました。



○大村議長

次に、吉野高等学校、22番、上田真由議員より提言第5号、南部地域の「元気」を奏でる暮らしを創造するについて提言決議方の動議が提出されましたので、上田真由議員に趣旨弁明を求めます。

提言第5号

～南部地域の「元気」を奏でる暮らしを創造する～

○上田議員

吉野高等学校を代表して、提言第5号、南部地域の「元気」を奏でる暮らしを創造するにつきましては、提言文の朗読をもって提案にかえさせていただきます。



(吉野高等学校 上田真由議員)

私たちは、南部地域の「元気」を奏でる暮らしを

創造する具体的内容及び方法を提案し、提言に代えたいと思います。

まず、南部地域から発信する「将来に持続可能」な取組として、2つ提案させていただきます。

1つ目は、専門性の高い「奈良県立大学校」の設立です。吉野は、我が国の植林(造林)の発祥の地であり、日本三大人工美林の1つ吉野美林として名高く、最高級ブランド材「吉野杉」を生んだ地域です。その吉野に県内はもとより日本全国へ発信する力を備えた専修学校を設立するのはどうでしょうか。吉野には、奈良県林業機械化センターや南部農林振興事務所、材木市場等があり、また、第51回農林水産祭で天皇杯を受賞された先進林業家がおられます。これらの恵まれた環境を生かした奈良県でしか学べない、多角的な学習ができるものと考えます。

2つ目は、癒しやレクリエーションを含めた公益機能を充実させた「奈良県立森林公園」の設置です。週末には、トレッキングや森林浴、フィールドアスレチック・キャンプに来る親子で賑わい、一日を要しても回りきれない自然をそのままに生かした体験型の公立公園を設置してはどうでしょうか。そして、その公園に、地域の特色を生かした生活体験や自然、文化、人々との交流を楽しむことができる滞在型の余暇活動を取り入れ融合させることで、これまで以上に吉野地域にある資源の力を発揮することができるようになるのではないかと考えます。

今回、私たちから、南部地域の振興に向けて持続可能な取組を提案させていただきましたが、南部地域にはエネルギー資源や公益機能を満たす自然が豊富にあります。この南部の素晴らしさを再発見・再確認し、埋もれた力を掘り起こし、発展させることにより、奈良県の未来が大きく広がっていくと考えます。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしく願います。

○森田議員

ただいま上田真由議員から提案されました提言第5号、南部地域の「元気」を奏でる暮らしを創造するに賛成します。

○上村議員

ただいま上田真由議員から提案されました提言第5号、南部地域の「元気」を奏でる暮らしを創造するに賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があつて成立しました。

よつて、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第5号については、22番、上田真由議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よつて、提言第5号については採択することに決しました。

○大村議長

次に、大宇陀高等学校、27番、新田千菜美議員より提言第6号、私たちの未来・ならについて提言決議方の動議が提出されましたので、新田千菜美議員に趣旨弁明を求めます。

提言第6号

～私たちの未来・なら～

○新田議員

大宇陀高等学校を代表して、提言第6号、私たちの未来・ならにつきましては、提言文の朗読をもちつて提案にかえさせていただきます。



(大宇陀高等学校 新田千菜美議員)

私たちは、「住みよく魅力ある奈良県づくり」の実現のために、2つのことを提案させていただきます。

1つ目は、公共交通の充実です。奈良県では、先の6月定例会で「奈良県公共交通条例」が制定されました。その条例の基本理念では、「移動環境の確保のために、必要な施策を計画的に推進することが奈良県の責務である。」とされています。奈良県全体に路線バスの便数とバス停、そして鉄道の便数を増やすことで、少しでも移動環境が確保できると思います。例えば、宇陀市菟田野地区から大宇陀地区に移動する場合、路線バスは8時台に1便しかありませんので、非常に不便です。その他の時間帯は、家族に送ってもらうか、一旦榛原駅まで行って大宇陀行きに乗り換えなくてはならず、時間と経費がかさみます。そのように、特に田舎で生活している人は、バスがないと移動ができません。電車を乗り継いで仕事や学校に行かなければならない人、その他にもいろいろと忙しい人がいっぱいいます。そのような人たちのために、公共交通機関の増便を提案します。

2つ目は、駅の安全対策についてです。視覚障害者が白い杖を持って、1人で鉄道を利用する場合、駅のホームは欄干のない橋に例えられるくらい危険な場所です。私は、駅で電車を待っているとき、通過列車の風圧で飛ばされそうになった経験があります。そんな危険なホームからの転落事故を防止するための安全対策として、落ちないホームを作ること、つまり“ホームドアの設置”を提案します。

以上、私たちの未来・ならのテーマの下、住みよく魅力ある奈良県づくりを提案します。

平成25年8月22日 奈良県高校生議会

ぜひともご賛成いただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、本日は、私たち高校生のために、昨年に続き奈良県高校生議会を開いていただき、まことにありがとうございます。

そして、昨年の質問や提言については、早速県政に反映されたと聞きましたので、ことしの私たちの声もきっと来年の県政に取り入れていただけることと信じています。

また、本日は、奈良県の将来について議論され

ているこのような場所で貴重な経験をさせていただき、本当によかったと思います。県内の同じ高校生が奈良県のことについて真剣に考えていることを知り、改めてこの高校生議会の持つ意味を考えることができました。

最後になりましたが、本日の高校生議員の質問に誠実にお答えいただいた荒井知事、富岡教育長及び原山警察本部長をはじめ、この場所を提供していただいた山下県議会議長並びに県議会議員の皆様、そして、この高校生議会の運営にかかわっていただいた全ての関係者の皆様にお礼申し上げて、質問及び提言を終わりたいと思います。

今日は、本当にありがとうございました。

○吉中議員

ただいま新田千菜美議員から提案されました提言第6号、私たちの未来・ならについて賛成します。

○丸本議員

ただいま新田千菜美議員から提案されました提言第6号、私たちの未来・ならについて賛成します。

○大村議長

ただいまの動議は、正規の賛成があって成立しました。

よって、直ちに議題とします。

お諮りします。

提言第6号については、27番、新田千菜美議員の動議のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

ご着席願います。

起立多数であります。

よって、提言第6号については採択することに決しました。

○大村議長

これをもって、住みよく魅力ある奈良県づくりについての提言を終わります。

○大村議長

以上をもちまして、奈良県高校生議会を閉会します。

○石井議会事務局長

西川議長、大村議長、高校生議員の皆様、大変お疲れさまでございました。

ここで荒井正吾奈良県知事より、本日の奈良県高校生議会について、まとめの感想をいただきたく、よろしく願いいたします。

知事所感

○荒井知事

皆さんと一緒にいろいろな分野の議論をさせていただきましたが、よく勉強されていて、的を射たご質問、参考になるご提言がたくさんあり、大変頼もしく感じさせていただきました。

皆様の初めての議員体験、ご印象はいかがでございましょうか。今日は、いつも行っている本会議の運営のとおり進行でございました。なかなかおもしろいところだ、議員になってやろうと思われたでしょうか。知事のほうがおもしろそうだと思われたでしょうか。

どうか皆さん、これからも奈良県政に関心を持ち続けていただきたいと思います。皆様お一人お一人が、将来どこにお住みになることになっても、住みよく魅力ある地域づくりのために、それぞれの分野でご活躍されることを期待しております。どのような分野に行かれても、本日のご経験が何かのお役に立てば幸いです。

最後に、本日の高校生議会開催に当たり、お世話をいただきました学校関係の方々及び県議会関係の方々に、改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

○石井議会事務局長

最後に、井岡正徳奈良県議会副議長から閉会のご挨拶を申し上げます。

副議長閉会あいさつ



○井岡奈良県議会副議長

閉会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

高校生議員の皆さん、お疲れさまでございました。知事はじめ理事者の方々におかれましては、高校生と一緒に県政の問題点や、これからの政策について議論する、よい機会であったと思います。

本日、高校生議員の皆さんから出された質問、提言の中には、これからの県政に参考となる意見がたくさんあったように思います。また、私たちがふだん言えないような、知事に対して大変厳しい意見や大胆な提案、提言などをしていただきまして、大変感謝、感心した次第でございます。

高校生の皆様方には、自分たちの奈良県をよくするんだというきょうの思いをいつまでも忘れず、これからも奈良県政に関心を持ち続けていただき、県勢の発展のため、いろんなアイデアを出してほしいと思います。

終わりにりましたが、本日の開催に当たり、ご協力賜りました参加校の先生方に厚く御礼を申し上げ、閉会のご挨拶といたします。ありがとうございました。

○石井議会事務局長

以上をもちまして奈良県高校生議会を全て終了させていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

閉 会
午後4時1分